

まちづくり交付金 事後評価方法書

岡部駅南地区

平成 20 年 5 月

埼玉県深谷市

## (1) 成果の評価

### 1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

#### 指標 1: 通りの歩行者数

##### A: 事前評価時の『従前値』の求め方

①従前値の基準時点	計画策定時（平成 16 年 4 月時点）
②実施主体	岡部町都市整備課（現 深谷市道路河川課）
③計測手法	J R 岡部駅における学生の定期利用者数を調査し、その結果を駅から埼玉工業大学への通りの歩行者数（1 日当たり）として算出した。

##### B: 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方

④計測時期	平成 20 年 4 月 1 日時点				
⑤実施主体	深谷市道路河川課				
⑥データの計測手法	JR に確認した結果、現在は駅毎の学生定期利用者数集計を行っておらず、従前値と同様の指標計測が不可能な状況である。 そのため、本地区において平成 18 年度に当該路線で実施された交通量実態調査の結果を用いる。				
⑦評価値の求め方	交通量実態調査の結果を評価基準日（平成 21 年 3 月 31 日）における評価値（見込み値）とする。				
⑧確定／見込みの別	<table border="1"><tr><td></td><td>確定</td></tr><tr><td>●</td><td>見込み</td></tr></table>		確定	●	見込み
	確定				
●	見込み				

##### C: フォローアップ時の『確定値』の求め方

⑨フォローアップの必要性	<table border="1"><tr><td>●</td><td>あり</td></tr><tr><td></td><td>なし</td></tr></table>	●	あり		なし
●	あり				
	なし				
⑩計測時期	平成 21 年 4 月				
⑪実施主体	深谷市道路河川課				
⑫計測手法	平成 18 年実施時と同様の方法により、当該路線における交通量実態調査を実施し、歩行者数の調査結果を評価値（確定値）とする。				

<b>指標 2 : 利用者数</b>					
<b>A : 事前評価時の『従前値』の求め方</b>					
①従前値の基準時点	既存の中央公民館・母子健康センター・勤労福祉センターの平成 15 年度年間利用者数の統計結果公表時（平成 16 年 3 月末時点）				
②実施主体	岡部町教育委員会（現 深谷市生涯学習課）				
③計測手法	既存施設（上記①）の平成 15 年度の年間利用者数統計結果を用い、利用者数の従前値を算出した。				
<b>B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方</b>					
④計測時期	平成 20 年 3 月末時点				
⑤実施主体	深谷市生涯学習課				
⑥データの計測手法	既存施設（上記①）の平成 19 年度年間利用者数統計結果を用いる。				
⑦評価値の求め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の整備が事業最終年度であるため、年間利用者数の評価時点では統計結果が得られない状況である。</li> <li>そのため、既存施設（上記①）の平成 19 年度の年間利用者数統計結果を用い、過去の傾向（平成 15～19 年度）から評価基準日（平成 21 年 3 月 31 日）の評価値（見込み値）を推計する。</li> </ul>				
⑧確定／見込みの別	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>確定</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>見込み</td> </tr> </table>		確定	●	見込み
	確定				
●	見込み				
<b>C : フォローアップ時の『確定値』の求め方</b>					
⑨フォローアップの必要性	<table border="1"> <tr> <td>●</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td></td> <td>なし</td> </tr> </table>	●	あり		なし
●	あり				
	なし				
⑩計測時期	交付期間終了後から 1 年後（平成 22 年 3 月末）				
⑪実施主体	深谷市生涯学習課				
⑫計測手法	事業により改修した「岡部交流センター」の年間利用者数の統計結果により、評価値（確定値）とする。				

<b>指標 3 : 来場者数</b>					
<b>A : 事前評価時の『従前値』の求め方</b>					
①従前値の基準時点	当地区のコスモス祭・花火大会・埼玉工業大学学園祭の平成 15 年度開催時（平成 15 年 10 月時点）				
②実施主体	岡部町商工振興課（現 深谷市商工振興課）				
③計測手法	当該イベント（上記①）の来場者数集計結果を合算し、来場者数の従前値とした。				
<b>B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方</b>					
④計測時期	平成 19 年 10 月時点				
⑤実施主体	深谷市商工振興課				
⑥データの計測手法	当該イベント（上記①）の平成 19 年度の来場者数集計結果を合算する。				
⑦評価値の求め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>計測時点では平成 20 年度の当該イベントが全て完了していない状況である。</li> <li>そのため、当該イベント（上記①）の平成 19 年度の来場者数集計結果を合算し、過去の傾向（平成 15～19 年度）から評価基準日（平成 21 年 3 月 31 日）の評価値（見込み値）を推計する。</li> </ul>				
⑧確定／見込みの別	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>確定</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>見込み</td> </tr> </table>		確定	●	見込み
	確定				
●	見込み				
<b>C : フォローアップ時の『確定値』の求め方</b>					
⑨フォローアップの必要性	<table border="1"> <tr> <td>●</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td></td> <td>なし</td> </tr> </table>	●	あり		なし
●	あり				
	なし				
⑩計測時期	イベント完了時（平成 21 年 10 月）				
⑪実施主体	深谷市商工振興課				
⑫計測手法	当該イベント（上記①）の平成 21 年度の来場者数集計結果を合算し、評価値（確定値）とする。				

## (1) 成果の評価

### 2) その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測

<b>数値指標1:</b>	<b>歩道の整備率</b>				
記述理由	・ 事業の実施により、岡部駅から埼玉工業大学に向かう道路の改良とバリアフリーに配慮した歩道の整備が進められ、区域内の歩道整備率が向上したことから、目標である「歩行者の安全性・快適性確保」を表し、数値目標（1. 通りの歩行者数）を補完する指標としてふさわしい。				
<b>A：事前評価時の『従前値』の求め方</b>					
①従前値の基準時点	平成16年3月末時点				
②実施主体	岡部町都市整備課（現 深谷市道路河川課）				
③計測手法	担当部署が所有する道路管理台帳より、区域内の道路における歩道の整備率（歩道が整備された道路延長÷道路総延長）を算出する。				
<b>B：事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方</b>					
④計測時期	平成20年7月時点				
⑤実施主体	深谷市道路河川課				
⑥データの計測手法	計測時点において、担当部署（道路河川課）からの情報提供により計画道路の整備状況を把握し、歩道が整備された道路延長を計測する。				
⑦評価値の求め方	・ 以下の計算式により歩道の整備率（見込み値）を算出する。 歩道の整備率＝「(当該時点における計画道路の整備延長) ÷ (道路総延長) × 100」				
⑧確定／見込みの別	<table border="1"><tr><td></td><td>確定</td></tr><tr><td>●</td><td>見込み</td></tr></table>		確定	●	見込み
	確定				
●	見込み				
<b>C：フォローアップ時の『確定値』の求め方</b>					
⑨フォローアップの必要性	<table border="1"><tr><td>●</td><td>あり</td></tr><tr><td></td><td>なし</td></tr></table>	●	あり		なし
●	あり				
	なし				
⑩計測時期	平成21年4月				
⑪実施主体	深谷市道路河川課				
⑫計測手法	担当部署が計測時点での計画道路の整備状況を把握し、当該時点における区域内の道路における歩道の整備率を、上記③、⑦と同様の方法で算出し、評価値（確定値）とする。				

<b>数値指標2：</b>	<b>人口一人当たりの公園面積</b>	
記述理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>岡中央土地区画整理事業の実施により公園整備が進み、区域内における一人当たり公園面積が増加したことから、目標である「都市基盤施設整備の促進による魅力ある住環境の創出と、歩行者が安全・快適に回遊できる空間整備の推進」に寄与した。</li> </ul>	
<b>A：事前評価時の『従前値』の求め方</b>		
①従前値の基準時点	平成16年4月時点	
②実施主体	岡部町都市整備課（現 深谷市区画整理課）	
③計測手法	区域内の公園面積と、住民基本台帳による区域内人口を用い、一人当たり公園面積（区域内公園面積÷区域内人口）を算出する。	
<b>B：事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方</b>		
④計測時期	平成20年4月時点	
⑤実施主体	深谷市区画整理課	
⑥データの計測手法	計測時点において区域内に計画された公園の整備状況を把握し、公園面積を計測する。また、従前値と同様に、住民基本台帳から区域内人口を把握する。	
⑦評価値の求め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の計算式により一人当たりの公園面積（見込み値）を算出する。 一人当たりの公園面積＝「(当該時点における公園面積) ÷ (区域内人口)」</li> </ul>	
⑧確定／見込みの別	<input type="checkbox"/>	確定
	<input checked="" type="checkbox"/>	見込み
<b>C：フォローアップ時の『確定値』の求め方</b>		
⑨フォローアップの必要性	<input checked="" type="checkbox"/>	あり
	<input type="checkbox"/>	なし
⑩計測時期	平成21年4月	
⑪実施主体	深谷市区画整理課	
⑫計測手法	担当部署が計測時点での計画公園の整備状況を把握し、当該時点における区域内の公園面積を計測する。また、従前値と同様に住民基本台帳から区域内人口を把握し、上記③、⑦と同様の方法で一人当たりの公園面積を算出し、評価値（確定値）とする。	

## (2) 実施過程の評価

### 1) モニタリングの実施状況の確認

#### A: 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア 都市再生整備計画に実施することを記載した  
イ 都市再生整備計画に記載しなかった  
ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

#### B: 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

なし

#### C: 事後評価時の確認方法

①時 期

②確 認 先

③確認方法

### 2) 住民参加プロセスの実施状況の確認

#### A: 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア 都市再生整備計画に実施することを記載した  
イ 都市再生整備計画に記載しなかった  
ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

#### B: 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

- 旧岡部町産・学・公・民連絡協議会(平成14年度設立)は平成18年の合併時に解散したが、その後新市の生涯学習課が中心となり、埼玉工業大学と連携した学習教室を年1回開催している。
- 「岡部交流センター活用調査」を行い、施設改修にあたって市民ニーズを反映させる。

#### C: 事後評価時の確認方法

①対 象

- 当該組織を中心としたまちづくり事業の実施状況を確認する。
- 「岡部交流センター活用調査」の実施状況を確認する。

②時 期

交付終了年度(平成20年7月1日時点)

③確 認 先

深谷市生涯学習課

④確認方法

- 生涯学習課へのヒアリングにより、学習教室の開催状況(内容及び参加者等)を確認する。
- 生涯学習課より「岡部交流センター活用調査」の報告書の提供を受け、調査結果と計画への反映内容等を確認する。

### 3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認

#### A: 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア 都市再生整備計画に実施することを記載した  
イ 都市再生整備計画に記載しなかった  
ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

#### B: 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

- 道路の植栽スペースへの草花の植栽から除去まで、一貫した管理やゴミ拾い等の清掃作業といった、住民参加による「まちづくりの一環事業」の実施

#### C: 事後評価時の確認方法

①対 象

当該事業の実施状況を確認する。

②時 期

交付終了年度(平成20年7月1日時点)

③確 認 先

深谷市道路河川課

④確認方法

- 担当部署へのヒアリングにより、これまでの「まちづくり一環事業」の実施状況や、今後の実施計画等を確認する。

**(3) 効果発現要因の整理**

①時 期	平成 20 年 8 月～9 月
②実施主体	深谷市区画整理課
③検討体制	区画整理課が主管課となり、事業に関連する部署（生涯学習課、道路河川課、商工振興課、企画財政課等）による庁内組織を設置する予定であり、今後のまちづくり方策の作成と併せて、3 回程度会議を開催する予定である。

**(4) 今後のまちづくり方策の作成**

①時 期	平成 20 年 9 月～10 月
②実施主体	深谷市区画整理課
③検討体制	前記のメンバーから意見聴取し、今後のまちづくり方策を作成する。

**(5) 事後評価原案等の公表**

	原案の公表	評価結果(最終)の公表
①時 期	平成 20 年 10 月	平成 21 年 3 月
②実施主体	深谷市区画整理課	深谷市区画整理課
③公表方法	広報により公表を周知し、区画整理課窓口にて公衆の縦覧に供するとともに、ホームページに掲載する。(3 週間)	広報により公表を周知し、区画整理課窓口にて公衆の縦覧に供するとともに、ホームページに掲載する。(フォローアップ完了1年後まで)

**(6) まちづくり交付金評価委員会の審議**

①時 期	平成 20 年 11 月
②実施主体	深谷市企画財政課
③設置・運用方法	市が新たに、まちづくり交付金評価委員会を設置する(予定)。 委員会は、都市計画審議会のメンバーを中心に学識経験者を含めて構成し、まちづくり交付金に限定した事業評価を行うよう、新たに「深谷市まちづくり交付金評価委員会設置要綱(仮称)」を作成する。

**(7) その他の機会における有識者からの意見聴取の予定**

①聴取方法	なし
-------	----

※(3)～(6)の検討以外に市町村で任意に有識者から意見聴取を予定する場合に記入

**(8) 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況**

①予算措置の状況	<input type="checkbox"/> ア 費用は発生しない <input checked="" type="checkbox"/> イ 費用は発生するが、予算措置を講じている <input type="checkbox"/> ウ 費用は発生するが、予算措置は講じていない <input type="checkbox"/> エ その他 ( )
----------	---

都道府県名	埼玉県
市町村名	深谷市
地区名	岡部駅南地区
計画期間	平成 16 年度～平成 20 年度
作成者	部署 都市整備部区画整理課
	役職 主査
	氏名 田嶋英生
連絡先	T E L 048-574-6656
	F A X 048-574-8545
	E-mail kuka@city.fukaya.saitama.jp